

「大崎市流」水害に強いまちづくり 共同研究専門家会議をスタートしました

市では、昨年10月の令和元年東日本台風により、甚大な被害を受けた鹿島台地域を対象に、「大崎市流」の水害に強いまちづくりの取り組みを進めています。

9月4日、東北で多くの防災活動、地域づくり活動の実績がある「一般社団法人東北地域づくり協会」との共同で、第1回専門家会議を開催しました。専門家会議では、治水および防災について知見を有する3人の有識者から、本市の地域特性に応じた、長期的視点での抜本的な水害対策に対する意見などをいただき、国などへの政策提言をまとめる予定です。

また、同地域を対象に、水害に強い地域のあり方に関するワークショップを開催していきます。それぞれの地域での自助共助による水害に強い地域づくりビジョンを、市と地域が一緒につくっていきます。会議では、鹿島台地域の特

激甚化する災害に対応するため 「田んぼダム」の活用を目指します

8月28日、県営農地整備事業千刈江地区内のほ場で「田んぼダム」の実証に関する現地見学会が行われました。

近年の災害の激甚化を受け、大崎市に広がる1万ヘクタールの水田を「田んぼダム」として活用することが検討されています。

「田んぼダム」とは、田んぼが元々持っている貯留機能を利用し、大雨の際に一時的に水を貯め、ゆつくりと排水することで、河川流域の農地や市街地の洪水被害を軽減させる取り組みです。



▲県の担当者から、実証ほ場で説明を受けました。

今回の見学会では、県と東北興商株式会社との共同研究により開発された製品「新開発の田んぼダム」が披露され、設置前と設置後の水の流れを現地で確認した他、県古川農業試験場に場所を移し、試験装置で水の流れを学びました。

今後は、「田んぼダム」に取り組むほ場と、そうでないほ場に分け、大雨時に水田に溜まった水量や排水量を観測するなど、データ収集を行います。

大崎市が誇る水田が洪水被害を軽減する一助になることを期待します。



▲「新開発の田んぼダム」を使用した試験装置で水の流れを確認しました。

28日	23日	18日	16日	10日	4日	1日	2020
●「ささ結」新米試食会	●秋の踏切事故防止キャンペーンオープニング	●秋の交通安全県民総ぐるみ運動街頭キャンペーン出動式	●令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰伝達式	●大崎市議会第3回定例会（10月2日）	●水害に強いまちづくり共同研究専門家会議	●令和2年秋の交通安全県民総ぐるみ運動交通安全推進会議	9月の主な出来事



▶令和元年東日本台風災害における災害出動の功績が認められ、表彰された「大崎市消防団」

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



岩出山発

荒馬が舞う！ぼんてん丸

9月5日、岩出山保育所、愛称「ぼんてん丸」の保育参観において、5歳児のクラス「きりん組」の子どもたちによる荒馬が披露されました。

荒馬は、田んぼの稲についた害虫を荒馬が追い払う「虫送り」が起源で、荒馬のように跳ねたり、時には駆け回る躍動感溢れる踊りです。毎年、政宗公まつりや地域のイベントで披露し、観客を楽しませています。

この日はほかに、クラスごと、遊戯や体操、徒競走も行われました。

元気いっぱい体操をしたり、ゴールを目指して一生懸命走ったり、みんなで楽しく汗を流す一日となりました。



▶荒馬になりきって、音楽に合わせてジャンプ！

古川発

環境問題について学びました

9月4日、古川第二小学校で「おおさきエコアクション推進事業」を実施し、5年生が参加しました。

「おおさきエコアクション推進事業」は、市が行う環境教育活動で、小・中学校に講師を派遣し、環境講演会を開催するものです。

講師を務めた有限会社 千田清掃の千田信良代表取締役から、今、世界各地で起きている環境問題や、すぐに実践できる環境問題対策について教わり、児童たちは熱心にメモを取っていました。講演会終了後には、エコパックのデザイン制作や、バイオディーゼルで動くゴーカートの試乗も行いました。

大切な古里や地球を守るために、一人一人ができることを考える、貴重な機会となりました。



◀環境問題について、真剣に話を聞く児童たち

松山発

「歴史の街」の魅力を堪能

9月12日、岩出山地域と松山地域を対象とした「観光ガイド体験 日帰りバスツアー～歴史の街 岩出山&松山～」が行われました。

ツアーでは、実際に地元で活躍している観光ガイドが、ツアー参加者と観光名所をめぐりました。

岩出山地域では旧有備館および庭園や岩出山城址を見学し、内川沿いを散策。松山地域では石雲寺や松山ふるさと歴史館を訪れました。

参加者は、地元の観光ガイドならではの地域に密着した歴史の解説に、驚いたり、うなずいたりしながら、耳を傾けていました。



▲身振り手振りでお話する松山ふるさと歴史館の展示品の解説をする観光ガイド